

# 俳句

今月の入選作品・兼題 「筍(竹の子)」  
「紫陽花」「根切虫」「草笛」「当季雑詠」

縁切れぬ喧嘩友達根切虫

津留和巳 (六合)

【句評】 自然との共存を詠いつつ作者特有の太らかな俳味が効いたユニークな句。

紫陽花はブーケみたいできれいだな 島崎七海(昭代第一小6年)

【句評】 すばらしい写生の句ですね。

筍の向きを確かめ鉤を打つ

高崎登美雄 (間)

朝掘りの筍穂先産毛すけ

河口廣子 (白鳥)

薄味の旬の竹の子食すすむ

大橋弘茂 (百町)

懐かしや筍ご飯母想う

大橋美嗣 (棚町)

雨あとの紫陽花の毬あざやかに

山田恵美子 (下宮永町)

紫陽花や絵筆悩ます蓼の数

富永英子 (新町)

あるじなき庭にひっそり額の花

江口和子 (今古賀)

我植えし苗も儂く根切虫

古賀治美 (南浜武)

根切虫万全を期す知恵しぼる

梅崎三和子 (田脇)

夜なべして朝を迎えた根切虫

田中徹男 (久末)

根切虫憎い奴でも逃しけり

甲斐田園一 (吉富町)

草笛が聞こえて来ます遠くから

松藤美代子 (大浜町)

葎の葉で草笛作る子供等と

河口 港 (百町)

草笛の音魔術かと子等の顔

西牟田みどり (蒲船津)

草笛のなつかしき音や里の空

松藤移世子 (立石)

鯉のぼりすいすい泳ぐ空高く

平川椿姫 (中島小6年)

竹の子はぐんぐん成長せいくらべ

高須太聖 (藤吉小6年)

雨の日にいろあざやかなあじさいだ

古波藏蒼介 (藤吉小6年)

草笛の良い葉に良い音良い気分

石橋咲良 (昭代第一小6年)

## ◆選者の句

ことごとく後のまつりや根切虫

万沙羅

俳句を募集します。選句者は、木下万沙羅さん。7月の兼題は「天瓜粉」「トマト」「落し文」「向日葵」「当季雑詠」。入選作品は9月号に掲載します。

●応募方法 俳句と明記し、自作、未発表の作品(※1人3句以内)に、住所、氏名、電話番号を書いて、ハガキ、ファクス、メールまたは直接、柳川庁舎企画課広報広聴係(FAX 74・5520、メール kouho@city.yanagawa.lg.jp) へ、7月6日(※必着) までにお送りください。